

# 選択・施工上の注意

## 施工環境 |

### 原則として内装使用

リアテックは一部商品を除き、原則として内装用途にお使いください。

### 施工環境(ホコリ・チリ)

施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて水をまく等、防塵対策を行ってください。本品と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。

### 照明

必要に応じて照明器具を使用し、明るい環境で施工してください。

施工環境が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

### 湿度

下地に湿気があると施工できません。下地を十分に乾燥させた後に施工してください。

### 静電気

空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をかけてください。

### 施工温度

#### 【施工温度】

- ・本品の施工可能温度範囲は12～38℃程度ですが、最適な施工温度範囲は20～25℃程度です。
- ・現場で本品を保管する場合は、直射日光を避け、温度は38℃以下で保管してください。
- ・施工後の急激な温度変化はフクレ・目隙の原因となるため避けてください。

#### 【低温時(12℃未満)】

- ・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。
- また、低温時はフィルムが裂けやすくなりますのでご注意ください。

#### 【高温時】

- ・直射日光が当たる下地面は、極端に接着力が強くなり、貼り付け後の微調整も困難で作業性が悪くなります。この場合は時間帯をずらして、下地が冷めるのを待ってから施工してください。
- ・高温時はフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。
- ・スチール下地への施工の際は、直射日光が当たる場所は冬季でも高温になっている場合がありますのでご注意ください。

### R面施工でのドライヤー使用

本品を折り曲げて施工する場合、商品によってはR面部分が白くなる場合があります。ドライヤーなどで温めながら貼り付けるか、貼り付けた後に温めてください。

## 下地調整 |

### 下地の清掃

下地表面の水分やゴミ・油分などを完全に除去し、汚れのないよう清掃してください。

### 下地の平滑・乾燥

下地は必ず凹凸がなく平坦で乾燥している状態で施工してください。

### シーラー・パテ・プライマー

下記の表を参考にシーラー・パテでの処理後、より強く接着するためにプライマー処理をおすすめします。専用プライマーはRTII、RP-100、RA、RSです。

### コーナーテープ

コーナー部分には必ずコーナーテープをご使用ください。

### 養生テープ・粘着テープ

養生テープ・粘着テープなどを本品表面に長時間貼ったままにしないでください。べたついてきれいに剥がせなくなる場合があります。

### 下地の色の影響

下地の色が本品表面の色に影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

### 傾斜面や水平面への施工

傾斜面や水平面に施工した場合の耐用年数は垂直面の場合と比較して短くなります。

### ベニヤ下地の油分除去

ベニヤ合板下地については油分をよく拭き取ってから施工してください。

### 下地の継ぎ目の固定

ケイ酸カルシウム板、石膏ボード、合板下地の継ぎ目部分はビスやタッカーで完全に固定してください。貼り付け時に本品を圧着することで下地が動き、パテが割れる場合があります。

### 無垢材等の接着不良・フクレ

無垢材、集成材、真鍮、銅、鉛下地は、接着不良によりフクレが生じることがありますので施工しないでください。

### ガラスへの施工

ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。ただし直射日光が当たる場合は、粘着剤が劣化したり、ガラスが熱割れを起こす場合があります。また本品の裏面には塩化ビニル製を表す∞PVCマークが印刷されていますので、ガラス面から透けて見える場合があります。

## 下地調整一覧 |

下地／工程	前処理	シーラー処理	パテ処理	サンディング	表面清掃	プライマー処理
石膏ボード	釘頭・段違い処理	—	セレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100/RA
ケイ酸カルシウム板	釘頭・段違い処理	シーラーS	セレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RA
モルタル	金こて仕上げ 乾燥状態確認	シーラーS	セレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100
焼付塗装鋼板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS
電気亜鉛めっき鋼板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100/RS
アルミニウム板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RS
ステンレス板	錆・油脂成分除去	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100/RS
ガラス	—	—	—	—	アルコール	—
シナベニヤ合板 ラワン合板	釘頭・段違い処理	SAシーラー	セレクト(上塗)/ エース(下塗)	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100/RA/RS
MDF	釘頭・段違い処理	SAシーラー	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RTII/RP-100/RA/RS
塩ビ銅板	表面状態確認	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS
メラミン化粧板 ポリエステル化粧合板	—	—	ポリエステル系パテ	#180～240サンドペーパー	アルコール	RP-100/RS

※表面清掃のアルコールは必要に応じてご使用ください。

選択・施工上の注意

裁断・貼り

カット・引き出し時のキズ

ロール状の本品をカットしたり巻き直したりする際は、表面にキズがつかないように床や作業台の養生を行ってください。

床置きせずロール状に立てる

裁断した本品の一時保管は、離型紙が内側になるように巻き、端部をマスキングテープで仮止めて立ててください。裁断した本品を引きずったり表面を直接床につけないでください。表面にキズがついたり、破損するおそれがあります。

平面状にすると剥離

ロール状の本品を引き出して平面状にすると、離型紙とフィルムが剥がれることがありますのでご注意ください。

ロットによる差異

本品は厳正な品質管理を行っておりますが、ロットにより多少の差異が生じる場合があります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。

方向性

本品は単色であっても方向性があります。裏面の離型紙ロゴを同じ方向に合わせて施工してください。本品の裁断位置により突合せ部の左右の濃さが極端に異なる場合がありますので、裁断位置や貼る方向にご注意ください。なお、エンボスにも方向性があります。逆方向に貼ると光線の加減で色違いに見える場合がありますのでご注意ください。

リピート

本品は製法上、リピートを正確に合わせることはできません。ジョイントをする際は事前にご確認ください。

ジョイント(突合せ施工・重ね切り)

突合せ(重ね切り) 施工の際は施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色の場合は目立つことがありますので、下地に同系の色を塗っておくことをおすすめします。ジョイント部分の下地にはプライマーを2度または3度塗りしてください。また本品を突合せ(重ね切り) する際は下地を切らないように注意してください。目隙の原因となります。

ジョイント(重ね貼り)

重ね貼りする際は、重ねる部分にプライマー RP-100またはRSを塗布し、乾燥させてから施工してください。その際プライマーがはみ出さないようご注意ください。

重ね貼りは不燃にならない

内装制限を受ける箇所について、既存の化粧フィルムの上に本品を重ね貼りすると、防火性能は取得できませんのでご注意ください。

出隅・入隅・三次曲面

出隅・入隅部分、また三次曲面に施工する場合は入念にプライマー処理を行い、接着強度を高めてください。

凹凸面のある下地

タイル面など、凹凸のある下地には施工しないでください。フクレや剥がれが発生する場合があります。

施工後

高温・多湿

常時50℃以上となる場所や、水中、湿度が高い場所への施工は避けてください。

最大強度

本品裏面の粘着剤は、時間の経過とともに下地との密着性が上がります。貼り替えなどで本品を剥がす際、種類によっては下地を傷める場合がありますのでご注意ください。

水まわりへの施工

浴室への施工には下記マークのついたリアテック抗菌・防かびタイプをご使用ください。

✦ 抗菌・防かび性能があります。

シートの表面から水分が浸透することはありませんが、端部や下地から水分が入り込むと接着不良を起こすおそれがあります。金属など含水しない下地をご使用になるか、端部への防水処理を十分に行ってから施工してください。

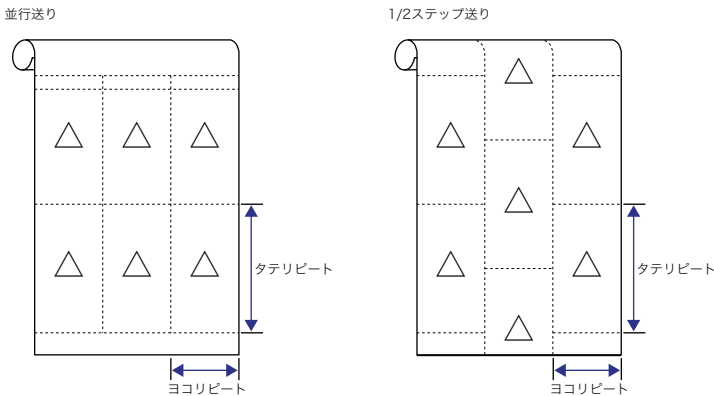
屋外への施工

屋外への施工には下記のお日様マークのついた本品、または高耐候リアテックをご使用ください。また、屋外に面したドアへの施工には、玄関ドアフィルムをご使用ください。

☀ 屋外垂直面使用で約3年の耐候性があります。

☀ 屋外垂直面使用で約5年または約10年の耐候性があります。

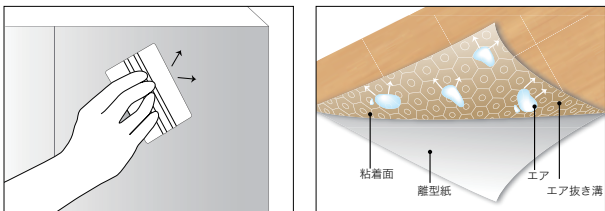
リピート図



リアテックの全ての柄にはリピートがありますが、製法上避けられないバラつきがありますので、リピート値は参考値とお考えください。同一商品においても生産時期、ロット、巻きによってリピートが異なる場合がありますのでご注意ください。この数値をもとにした材料取りや裁断を行わないようご注意ください。また、ジョイントをする際は事前にご確認ください。

エアスルー

本品はエア抜きが容易なエアスルー加工を採用しています。裏面の溝が空気の通り道をつくり排出するため、施工がすばやく簡単に行えます。



## 選択・施工上の注意

シリーズ別注意事項 | ❶ マークの商品について注意事項を記載しています。

品番毎に該当する選択・施工上の注意を P.30～35「商品情報一覧」にてご確認ください。

- A** メタリック・反射エンボス商品 ————
- 下地の影響を受けやすい商品のため、下地調整を十分に行い施工してください。平滑で継ぎ目のない下地に施工してください。
  - 反射光により、ジョイント部分の左右で色が異なって見える場合があります。事前にご確認の上、目地取りすることをおすすめします。
  - ドライヤー等で過度に引き伸ばすと、色調・外観にムラが生じる場合がありますのでご注意ください。
  - 貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。
  - 角度により色調が変化する場合がありますので、流れ方向を合わせて施工してください。
  - 他のリアテックよりもロットによる色の差異が大きくなります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。
- B** エンボスが深い商品 ————
- 深いエンボスが特長の商品です。他のリアテックよりもサンディングとプライマー処理を徹底し、圧着を十分に行ってください。
  - 重ね貼りの際は、エンボスの深さにより接着力が低下するため、十分にご確認ください。
- C** 横方向の柄／斜め方向の柄／幾何エンボス商品 ————
- 製法上、中央部と両端部で柄のゆがみが発生します。突合せ施工で左右の柄合わせはできません。
  - 目透かしや目地込みでの施工をおすすめします。
- D** 三次曲面への施工 ————
- 過度に引き伸ばすと色調・外観にムラが生じる場合があります。三次曲面への施工は避けてください。
- E** メラミン化粧板との同柄商品 ————
- イビケン株式会社のメラミン化粧板「イビボード」との同柄コーディネートを提案するものです。
  - 原材料や製造方法が異なるため、同じ柄であっても色や艶、質感などが異なります。また光源や見る角度によって色調が異なって見える場合があります。連続する平面での使用は避け、あらかじめサンプルなどで現物をご確認の上でご使用ください。
- F** エアスルー未加工商品 ————
- エア抜きが容易なエアスルー加工を施していない商品です。
  - エアスルー加工品と比較して、エアが抜きにくいので、貼り付け時の圧着作業を入念に行ってください。
- G** リアルウッドエクストラ ————
- リアテック下敷きカッターを使用しないでください。カッターの痕がフィルム表面に見える場合があります。離型紙はカットせずに、折り返して施工してください。
  - エンボスが深い商品のため、リアルウッドエクストラを下地とした重ね貼りは避けてください。
- H** 屋外使用 ————
- 屋外に使用する場合、木・ケイ酸カルシウム板・スレート板・窯業系の下地には施工しないでください。施工後にフクレや剥がれが発生する場合があります。
  - 屋外に使用する場合、端部および下地側から水分が入り込むと接着不良を起こす場合がありますので、金属などの含水しない下地に施工してください。また、端部へのシール等防水処理を十分行ってください。
  - 形状によっては施工できない場所もあります。
  - 重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要です。
  - 屋外に面したドアへの施工は、玄関ドアフィルムを使用してください。
- I** リアテック下敷きカッター使用不可 ————
- リアテック下敷きカッターを使用しないでください。カッターの痕がフィルム表面に見える場合があります。離型紙はカットせずに、折り返して施工してください。
- J** リアテックコート ————
- 下地の影響を受けやすい商品のため、下地調整を十分に行い施工してください。
  - 表面に特殊樹脂を使用しているため、他のリアテックと比べて耐汚染性が若干劣ります。頻繁に人の手が触れるような場所での使用は避けてください。
  - 雑巾での乾拭き等、日常使用による軽微な擦りキズは修復し目立たなくなりますが、フィルムに直接及ぶような著しい損傷は修復できませんので、ご注意ください。
  - 出隅・入隅への施工の際は、摩擦熱により表面が白化する場合があります。布を巻いたスキージーで強く擦るのは避け、ゆっくり圧着してください。
  - パネル貼り付け時等、リアテックコート品の表面同士が直接重なると、表面の特殊樹脂の影響により剥がれにくくなる場合がありますので離型紙等を間に挟み直接フィルムの表面同士が密着しないようにしてください。
  - 重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要です。
  - 低温時は特に割れやすくなるため、現場環境を改善し、材料をなじませてから施工してください。
- K** リアテック同柄シリーズ ————
- リアテック、ハードウォール、壁紙、フロアタイル、ガルザスは材質・幅の異なる商品です。柄やリビートを正確に合わせることはできませんのでご了承ください。
  - 原材料や製造方法が異なるため、同じ柄であっても色や艶、質感などが異なります。また光源や見る角度によって色調が異なって見える場合があります。連続する平面での使用は避け、あらかじめサンプルなどで現物をご確認の上でご使用ください。
- L** ホワイトボードシート ————
- ジョイントは突合せ施工を基本にしてください。やむを得ず重ね貼りが必要な場合はサンディングおよびプライマー処理が必要ですが、処理した箇所の周辺は表面性能が損なわれる場合がありますのでご了承ください。
  - 三次曲面への施工はできません。
  - TW-1000 は表面に特殊フィルムをラミネートしているため、重ね貼り施工はできません。重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要です。目透かしや目地込みでの施工をおすすめします。
  - 端部等へのコーキング処理が必要な場合は、はみ出し防止用にマスキングテープを貼り付け、サンドペーパー等で表面処理をした後に行ってください。コーキングの密着力を高めるために、この処理は必ず行ってください。
  - 市販されているすべてのマーカーやイレーザー、クリーナー等に対する筆記性や字消性を保証するものではありません。
  - 使用開始直後はマーカー筆記時にはじきが生じる可能性があります。数回書き消していただくと、はじきを低減できる可能性があります。
  - キズをつけると筆記性や字消性に影響があります。貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。また施工後もキズがつかないようにご注意ください。
  - 汚れがひどくなった場合には、柔らかい布で水拭きしてから乾拭きしてください。
  - 詳細は本冊子 P.44 を参照ください。

<b>M</b> 浴室パネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>浴室パネルは防火認定を取得しておりません。内装制限を受ける箇所には使用しないでください。</li> <li>積み重ねる際は異物が入らないようにご注意ください。</li> <li>下地を清掃し、十分に乾燥させてから施工してください。</li> <li>不陸の調整は十分に行ってください。</li> <li>メンテナンスの際は中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジや布で清掃してください。</li> <li>研磨剤の入ったスポンジや金タワシを使用すると表面が摩耗し、抗菌・防かび効果が損なわれる場合があります。</li> <li>シンナー・トルエンなどの溶剤は使用しないでください。</li> </ul>
<b>N</b> 強反射柄メタリック品	<ul style="list-style-type: none"> <li>メタリックの輝度により、見る角度によっては不規則な模様が見える場合があります。通常のメタリック品よりも高輝度のために起きる特性ですのでご了承ください。</li> </ul>
<b>O</b> マット商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊樹脂を使った艶消し仕上げが特長の商品です。重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要です。</li> <li>他のリアテックと比べて耐汚染性や耐薬品性・耐溶剤汚染性が若干劣ります。頻繁に人の手が触れるような場所での使用は避けてください。</li> <li>他のリアテックと比べて擦りキズが目立ちやすいです。貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。</li> <li>ドライヤー等で過度に引き伸ばすと、色調・外観にムラが生じる場合がありますのでご注意ください。</li> </ul>
<b>P</b> 高耐候リアテック・玄関ドアフィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>過度に引き伸ばすと長期耐候性が著しく低下する場合があります。</li> <li>他のリアテックと比べて、フィルムが裂けやすい商品です。カットニングや施工の際にご確認ください。</li> <li>重ね貼り施工をする場合には、重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要です。</li> <li>玄関ドアフィルムはアルミニウム板と金属板以外の下地材では防火性能を有しておりません。</li> <li>屋外に面したドアへの施工は、玄関ドアフィルムを使用してください。</li> <li>詳細は本冊子 P.45 をご参照ください。</li> </ul>
<b>Q</b> 特殊印刷・輝度インク使用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品特性上、色調が変化して見える場合がありますのでご注意ください。</li> </ul>
<b>R</b> 低温時割れ注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品特性上、割れやすい商品のため、低温時の施工は避けてください。</li> </ul>
<b>S</b> 抗ウイルス	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗ウイルスリアテックは、抗ウイルスおよび抗菌性能を保証するものではありません。また実際の使用状況で試験機関の試験結果と同様の効果を保証するものではありません。</li> <li>日本国外では対象国の法令等によって使用が制限される場合があります。</li> <li>特殊樹脂を使った艶消し仕上げの商品です。重ね貼り施工する場合には重ねる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要ですが、処理した箇所の周辺は表面性能が損なわれる場合がありますのでご了承ください。</li> <li>他のリアテックと比べて耐汚染性や耐薬品性・耐溶剤汚染性が劣ります。</li> <li>水や消毒液等に触れたまま放置すること、高温多湿の環境に置くことは避けてください。特に屋外や浴室、水まわりなどに使用しないでください。</li> <li>他のリアテックと比べて擦りキズが目立ちやすいです。貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。</li> <li>ドライヤー等で過度に引き伸ばすと、色調・外観にムラが生じる場合があるので避けてください。</li> </ul>
<b>T</b> 偏光フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>三次曲面への施工はできません。</li> <li>施工時の温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが剥がれたりする場合があります。ドライヤー等を使用して、下地基材やフィルムを温めてから施工してください。その後、ドライヤー等でフィルム表面を温めてフクレが生じる場合は圧着不足につき、丁寧に圧着してください。</li> <li>他のリアテックより伸縮性が無いためシワが伸びにくくなっています。また貼り剥がし作業を行うとフィルムに折れジワが発生する場合がありますので避けてください。</li> <li>製品特性上、ロット間・ロット内での色調の差があります。突合せでの施工は避け、目透かしや目地込みで施工してください。</li> <li>他のリアテックと比べて擦りキズが目立ちやすいです。貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。</li> </ul>
<b>U</b> 金属調フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>三次曲面への施工はできません。</li> <li>施工時の温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが剥がれたりする場合があります。ドライヤー等を使用して、下地基材やフィルムを温めてから施工してください。その後、ドライヤー等でフィルム表面を温めてフクレが生じる場合は圧着不足につき、丁寧に圧着してください。</li> <li>他のリアテックより伸縮性が無いためシワが伸びにくくなっています。また貼り剥がし作業を行うとフィルムに折れジワが発生する場合がありますので避けてください。</li> <li>製品特性上、ロット間・ロット内での色調の差があります。突合せでの施工は避け、目透かしや目地込みで施工してください。</li> <li>水や酸性・アルカリ性の洗剤等に触れたまま放置すること、高温多湿の環境に置くことは避けてください。特に屋外や浴室、水まわりなどに使用しないでください。</li> </ul>

# 選択・施工上の注意

## シリーズ別注意事項 |

ホワイトボード TW-1000 / TW-2000 / TWP-2001

## 施工上の注意 |

本品の基本的な施工方法は「リアテック」に準じますが、一部特性が異なりますのでご注意ください。

### 施工時の温度・湿度

最低貼り付け温度は12℃です。低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。

### 下地の平滑性と筆記性・消去性・投映画像への影響

下地表面の水分やゴミ・油などを完全に除去し、十分な清掃をしてください。下地は必ず凹凸がなく平坦で乾燥している状態で施工してください。下地の凹凸が筆記性や字消性、投映画像に影響を与えますので入念な下地処理をお願いします。下地には平滑な鋼板をおすすめします。

### 表面のキズつき注意

本品の貼り付けは、柔らかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの(柔らかい布を巻かないスキージーなど)で圧着すると、表面をキズつける場合があります。

### ジョイント

本品は突合せ(重ね切り)施工をおすすめしますが、施工後に隙間が生じる場合があります。また、TW-1000・TW-2000・TWP-2001のいずれも表面に特殊フィルムをラミネートしているため、重ね貼り施工をする場合には、重なる部分にサンディングおよびプライマー処理が必要ですが、ジョイント部分の凹凸が筆記性や字消性、投映画像の品質に影響を与えますので、ご了承ください。ジョイント部分は細い筋が入っているように見えます。この部分でマーカーを使用すると、イレーザを使用しても消去できず線状に着色して見えますのでご注意ください。

### 二次・三次曲面への施工

TW-1000は二次曲面への施工が可能ですが、引き伸ばすと性能が低下するおそれがありますのでご注意ください。TW-2000・TWP-2001は二次曲面への施工は避けてください。また三次曲面への施工はTW-1000・TW-2000・TWP-2001のいずれも避けてください。

### ロットによる差異

本品は厳正な品質管理を行っておりますが、ロットにより多少の差異が生じることがあります。異なるロットを同じ面に使用することは避けてください。

## 使用上の注意 |

### 照明環境

光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。

### 筆記・消去

TW-1000への筆記には、下表の推奨マーカーをお使いください。それ以外のマーカーで書いてしまうと消去できない場合があります。インクの消去は下表のホワイトボード用の推奨イレーザをご使用ください。マーカー・イレーザの種類により、字消性に若干の違いが出ますのでご了承ください。また、市販されているすべてのマーカーやイレーザ、クリーナー等に対する筆記性や字消性を保証するものではありません。

### 初期はじき

初期のマーカーは筆記時にはじきが生じる可能性があります。数回書き消していただくと、はじきを低減することができます。

### キズがついた場合の消去性

フィルム表面にキズをつけると凹部にマーカーのインクが入り込み、汚れて消去できなくなりますのでご注意ください。

### 時間経過した場合の字消性 等

繰り返しお使いいただくとイレーザでは消去しにくくなる場合があります。また筆記後時間が経つと消去しにくくなります。汚れがひどくなった場合は、布などで水拭きしてから乾いた布で乾拭きしてください。落とすにくい場合は消毒用エタノールまたは下表の推奨クリーナーをお使いください。

### イレーザの交換

インクの「カス」がシートに付着するのを防ぐため、イレーザが汚れた場合は使用を続けずに交換してください。

### 投映画像の品質

TW-1000に投映した画像の品質は、下地の状態やプロジェクターの種類、投映環境によって異なります。またTW-2000・TWP-2001はプロジェクター投映に対応していません。

### 推奨マーカー

メーカー	製品名	色	型番
べんてる	べんてる ホワイトボードマーカー ノックル中字	黒	EMWLM-A
		青	EMWLM-C
		緑	EMWLM-D
		赤	EMWLM-B
アスクル	アスクル ホワイトボードマーカー 中字丸芯	黒	KK2551A
		青	KK2551B
		赤	KK2551C
カウネット	カウネット ホワイトボードマーカー 丸芯	黒	3066-1653
		青	3066-1677
		赤	3066-1660

### 推奨イレーザ

メーカー	製品名	型番
プラス	コピーボード イレーザ	ER-44369

### 推奨クリーナー

メーカー	製品名	型番
コクヨ	ホワイトボード用クリーナー	TW-400

※2023年8月時点、市販されているマーカーおよびイレーザを用いて評価したものです。

# 施工上の注意

## シリーズ別注意事項 | 高耐候リアテック / 玄関ドアフィルム

### 施工環境 |

#### 施工環境 (ホコリ・チリ)

施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて水をまく等、防塵対策を行ってください。本品と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。

#### 照明

必要に応じて照明器具を使用し、明るい環境で施工してください。施工環境が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

#### 湿度

下地に湿気があると施工できません。下地を十分に乾燥させた後に施工してください。

#### 静電気

空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をかけてください。

#### 施工温度

##### 【施工温度】

- ・本品の施工可能温度範囲は12〜38℃程度ですが、最適な施工温度範囲は20〜25℃程度です。
- ・現場で本品を保管する場合は、直射日光を避け、温度は38℃以下で保管してください。
- ・施工後の急激な温度変化はフクレ・目隙の原因となるため避けてください。

##### 【低温時 (12℃未満)】

- ・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを用意するなど現場環境を改善してから施工してください。また、低温時はフィルムが裂けやすくなりますのでご注意ください。

##### 【高温時】

- ・直射日光が当たる下地面は、極端に接着力が強くなり、貼り付け後の微調整も困難で作業性が悪くなります。この場合は時間帯をずらして、下地が冷めるのを待ってから施工してください。
- ・高温時はフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。
- ・スチール下地への施工の際は、直射日光が当たる場所は冬季でも高温になっている場合がありますのでご注意ください。

#### R面施工でのドライヤー使用

本品を折り曲げて施工する場合、商品によってはR面部分が白くなる場合があります。ドライヤーなどで温めながら貼り付けるか、貼り付けた後に温めてください。

### 施工上の注意 (高耐候リアテック / 玄関ドアフィルム 共通) |

#### 下地の選定

直射日光、雨が当たる木質系のドアへの施工はフクレが発生する場合があるので施工しないでください。  
表面に油分がある場合は除去してから施工してください。  
プレス形状のドアは形状によって施工できない場合があります。下地の状態によっては施工できない場合があります。

#### プライマー処理

全面に塗布し、十分に乾燥させてから施工をしてください。  
プライマーが塗装面に影響を及ぼし密着が悪い場合には施工ができません。  
事前に目立たない部分で確認してからご使用ください。

#### 貼り付け

圧着ムラがでないようにしっかりと圧着してください。フクレや剥がれの原因となります。商品の特性上フィルムが裂けやすいのでご注意ください。貼り直し、カットの際に亀裂(きっかけ)ができると後から裂けてしまう可能性があるためご注意ください。

### 施工上の注意 (玄関ドアフィルム) |

#### 玄関ドア専用

玄関ドアフィルムは玄関ドア専用の商品です。  
壁面などへのジョイント施工は色違いの原因になりますので避けてください。

#### ドア表面の付属品

ドアスコープなどの付属品は、なるべく外してから施工してください。  
また施工後、取り付けの際に強く締めつけすぎるとフクレやひび割れの原因となりますので、十分にご注意ください。  
ドアの蝶番まわりへの施工は商品が裂けやすいのでご注意ください。

#### 下地確認・プライマー処理

- ・リフォームの場合、既存下地の状態を確認し、十分な下地処理を行ってください。  
下地仕上げ用パテはポリエステル系パテをご使用ください。特に屋外環境では吸湿性のあるパテを使用すると湿気や水分等によりフクレに繋がる場合があります。内装用や石膏系のパテは使用しないでください。
- ・塗装面の場合、プライマーが塗装面を侵さないことを端部で確認後、全面塗布し、十分に乾燥させてください。
- ・古い物件の場合、塗装や化粧フィルムが何層にも重なっている場合がありますので、下地自体の密着度を確認して、密着が弱い場合は剥がすなどの処置を行ってください。
- ・プライマーは全面にムラなく塗布することが基本です。塗りムラがあると、その部分のみ密着が弱くなり、温度変化等により浮き、剥がれに繋がるおそれがありますのでご注意ください。
- ・古い塩ビ銅板下地の場合、プライマーに含まれる溶剤が塩ビ面に残留しやすく、十分に揮発しない状態で化粧フィルムを施工すると、粘着剤に影響を与え、浮きや剥がれに繋がることがありますので、乾燥時間を十分にとって施工してください。特に冬場、低温時には溶剤の揮発が遅れるためご注意ください。

#### 貼り付け

- ・一般的なリアテックと異なりエアスルー加工が施されていません。そのためスキージーはワイドサイズではなく、レギュラーサイズをおすすめします。またスキージーを動かす幅は1/2ずつ重なるように、ゆっくりと十分に圧着をかけながら、スキージングを行ってください。
- ・外部施工では温度変化が直接フィルムに影響を及ぼしやすく、圧着は特に入念にムラなく行ってください。圧着ムラがある場合、施工直後には表面にフクレが見えない場合でも、気温が上昇することで空気が膨張し、フクレが生じる場合があります。
- ・低温時にはドアの巻き込み部や凹凸部はフィルムが跳ねやすくなるため、ヒートガン等で熱を加えながら十分に圧着してください。
- ・ドライヤーやヒートガンで温める際に一点に集中して当てると外観変化やフクレの原因となりますので、加熱が必要な箇所を中心にムラなく当ててください。
- ・ドアスコープやドアノブ、郵便受けまわりや装飾用の役物付近は圧着がしにくいので、特に意識して圧着を行ってください。不要なフィルムをカットし仕上げた後、最後にもう一度圧着ムラがないか確認してください。

#### 施工後の注意点

施工直後に急激な温度変化があると、フィルムが伸び、浮き、フクレに繋がるためご注意ください。

別途施工要領書を準備しておりますので、弊社営業窓口までお問い合わせください。



## 保管・運搬・メンテナンス上の注意

### 保管・運搬上の注意 |

---

#### 保管方法

使用後に残った本品を保管するには、手で巻き締め、テープ止めをして緩みがないようにしてください。  
緩めて保管すると、離型紙とフィルムが剥離する場合があります。  
直射日光や高湿度下を避け、周囲温度38℃以下の清潔な場所に保管し、購入後1年以内に使用してください。

#### 無理な運搬はしない

本品は重量物となるため、お取り扱いの際は十分な安全確保をし、無理な運搬は避けてください。事故や怪我の原因となります。

#### 高所から落とさない

本品はトラックの荷台など高い所から落とさないでください。破損や怪我の原因となります。

### メンテナンス上の注意 |

---

#### 日常のメンテナンス

日常的な汚れは薄めた中性洗剤とスポンジなどで清掃してください。清掃後は水拭きを行い、本品表面に残った洗浄剤を除去してください。  
強く擦り過ぎると表面の色・艶が変化する場合がありますのでご注意ください。

#### クレンザーや研磨剤

クレンザーなど研磨剤が含まれている洗浄剤やスポンジ、またシンナー等の溶剤は使用しないでください。  
キズや変色が発生する場合があります。

#### 漂白剤・ヘアマニキュア

水まわりにご使用の場合、ヘアマニキュアなどを付着させないようにご注意ください。  
また、漂白成分が含まれる洗剤を使用した場合、表面の色・艶が変化する場合がありますのでご注意ください。

### その他 |

---

#### 床に放置すると危険

離型紙や端材を床に放置すると歩行中に転倒のおそれがあります。

#### 有機溶剤・引火

有機溶剤が含まれているシーラー・プライマーをご使用の際は、十分な換気を行い、また引火を防ぐため、火器類を近づけないようにしてください。  
重大な事故に繋がるおそれがあります。

#### 廃棄物

端材などの廃棄については、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託してください。